

# 市長と語ろう地域懇談会 記録

【日時】平成28年10月28日（金）午後6時30分～8時00分  
 【会場】鳥沼会館  
 【対象地域】鳥沼・大沼  
 【出席者】12人

担当部	意見・要望などの要旨	回答の要旨
建設水道部	災害を未然に防ぐため、ベベルイ川・ヌッカクシフラノ川の整備をお願いしたい。	【建設水道部長】本日10月28日に沿線首長及び議長とともに、北海道に対して河川整備について要望活動を行っている。北海道の回答としては、具体的な整備箇所は示されなかったが、河川整備に対する必要性を理解した上で、今後事業を進めることを確認している。市として引き続き、上川総合振興局や旭川建設管理部富良野出張所に働きかけを行い、早急に浚渫などを対応するよう働きかけたい。
建設水道部	ベベルイ川の中州と立木について、立木は対応している状況だが、3号から下の中州は魚道確保の観点で人工的に造られ、8線まで水路が狭まっている。魚道確保も大切なことだが、排水路整備の再検討をお願いしたい。	【建設水道部長】住民の安全安心を確保するため、北海道に伝えていく。
建設水道部	毎年、旭川建設管理部富良野出張所と打ち合わせしてベベルイ川の草刈を行っている。平成25年度に中州の浚渫を要望しているが、いつ浚渫を行うのか不明の状況になっており、今年の台風では一部の農業者が農地被害を受けている。今後若い農業者が安心して営農できるようにしてほしい。	【市長】鳥沼・大沼地区における河川のあり方についても、本日北海道に要望をしている。今回の台風により北海道は激甚災害指定を受けており、こういう機会がなければ北海道としても早急に対応してもらえない状況はあったが、山部の基線道路の橋下がえぐられ、北海道に直接申し入れをし、早急に改修が行われている。強く要望することで北海道も対応していただける状況があり、要望の内容がどこまで実施されているのか、市としても要望における北海道の対応について確認を強化していきたい。また、樋門の開閉については、上富良野では判断力のある経験者が開閉の判断をしたことで被害が最小限に抑えられたと聞いている。富良野市

建設水道部	<p>空知川への出口につながる河川改修について、農地基盤整備が進むことで河川への水の流入が速くなり、河川の氾濫もしやすくなるので、早急に対策をお願いしたい。</p>	<p>においても、年に2～3回の演習をするなど対策を講じたていきたい。</p> <p>【市長】国は北海道の河川改修が進めば、すぐに国の河川も改修を進めていくと聞いている。国の河川だけを先行して改修することはできないが、現在も改修できる箇所については工事を進めている。北海道も今回の災害における補正予算を組んでおり、来年度に向けては、立木や浚渫、魚道の確保について市の建設水道部で確認して進めていく。</p>
総務部	<p>この地域は、インターネット環境が整備されていないので市がWEBサイトを作っても縁のない話であるが、以前、光回線のアンケートを行い、賛成者が少ないことで話が流れたと聞いている。高齢者の意見を聞いても仕方がない。現代は、いろいろな情報を得るためにネット環境がなければ陸の孤島状態である。一部の人たちのためにインターネット環境を整備する難しさも理解するが、必要としている人には対応してほしい。</p>	<p>【企画振興課長】現在、富良野・山部市街地、扇山の国道38号線沿いの箇所において光ファイバーが通っているが、それ以外の農村地域1,900世帯では光ファイバーは敷設されていない状況である。光ファイバーが通っていない地域全戸に敷設した場合の経費は約12億5千万円程度かかる。また、利用実態を調べるためにこの1,900戸に対してアンケート調査を行い、回収率は36.7%、690世帯から回答を得ている。そのうち、光ファイバーが敷設された場合に利用すると回答したのが29%となり、この結果から、全戸に敷設する場合の費用対効果を踏まえ、市としては農村地域の公共施設に光ファイバーの設備敷設を計画している。鳥沼地域の場合であれば、鳥沼小学校や国の子寮に設備を敷設するなど、富良野市全体で約1億7千万円かかるが、来年度から整備できるよう、北海道総合通信局や総務省に対して7月に要望している。実現できれば、平成29年度に各公共施設に光ファイバーを整備することになる。</p> <p>【副市長】光ファイバーが公共施設に整備された後、公共施設から無線により各世帯に光回線が届くようにできないかということも含めて検討している。</p>

市民生活部	外国人観光客の交通ルールについて、東6線道路を富良野市から中富良野町へ向かう際に、一時停止を無視して5~60キロくらいの速度で走行している。交通事故にならないよう交通標識の対策を講じてほしい。場所は東6線道路のライスセンターから北1~3号あたりである。	<p>【市民生活部長】市街地には外国人向けの看板を設置しており、郊外の危険個所についても現地を確認して対応したい。</p> <p>【副市長】外国人には「止」の標識は理解されないようなので、「STOP」の標識を設置することで、事故が減少している。標識は公安委員会のものなので、看板で対応したい。</p>
建設水道部	鳥沼地区では、暗渠工事などの土地改良が進むと同時に経年劣化によって市道においては30数カ所の危険な場所があり、市にはすでに報告している。乗用車の場合は行けるところもあるが、トラクターの場合はホイールベースが長いため、弾みやすい。たまねぎの出荷時期になると、運搬時にたまねぎを落としてしまうことになってしまう。また、ブレーキを強く使うため部品の劣化が早まり、修理費用がかさんでしまう。さらに、冬場は弾んで路外に逸脱したり交通面でも非常に危険である。	<p>【建設水道部長】すでに提出された資料をもとに、対応しようと考えているが、今回の台風災害により対応が遅れている状況である。鳥沼地域全体の道路改良事業は予定していないが、北6号道路が特に状態が悪いため、現在補助事業を探している。劣化が進んでいる場所については、担当職員と地域で確認して年次計画を立てた中で、少しずつ対応したい。</p>
建設水道部	東8線道路が鳥沼地域のメイン道路になっているので、優先的に道路改良に取り組んでほしい。	<p>【建設水道部長】東8線道路はすでに改良事業が行われており、泥炭地域という特殊性もあることから、地域のみなさんと協力して事業を進めたい。</p>
建設水道部	大沼地区では東6線道路が基幹道路になっているので、検討願いたい。	<p>【建設水道部長】地域のみなさんと協議して、順次進めていきたい。</p>
建設水道部	鳥沼公園の環境整備について、ボートが無くなった経緯について鳥沼地域には説明すべきと考える。また、教育面で活用することから、公園内を整備すべきと思うが。	<p>【建設水道部長】ボートの老朽化によって今年の5月に転覆し、人命に影響はなかったが、救命胴衣が無いこと、監視員がいないことなど、管理面の課題もあり、今年度については急遽ボートを撤去している。広報紙で周知をしているが、鳥沼地域への説明はご指摘のとおり不足していたと考える。平成29年度に向けて</p>

		<p>は、管理体制を構築し早い時期に再開できるようにしたい。環境整備については、監視員を一人配置し対応しているが、地域のみなさんにおいて気づいた点があれば、連絡をお願いしたい。</p>
--	--	----------------------------------------------------------------------------------------------